

企画展

はね

飛ぶ羽 鳴く翅 すごいハネ

2023.
7.1 sat ▶
10.15 sun



埼玉県立

自然の博物館

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1 TEL.0494-66-0404

埼玉県立自然の博物館

検索

@saitama_shizen

開館時間 9:00~16:30(7・8月は17:00まで)
※入館は閉館30分前まで

休館日 月曜日(祝日、7・8月は開館)、
9/4(月)~9/11(月)
開館時間、休館日は変更の可能性があります。

観覧料 一般200円 大学生・高校生100円
中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方と
その付添者1名は無料

企画展

はね

飛ぶ羽 鳴く翅 すごいハネ

2023.7.1 sat ▶ 10.15 sun

空を飛ぶ生きものにとって重要な器官である「はね(羽・翅)」。

そんな「はね」の活躍の場は、空だけではなくありません。音を出したり、体を温めたりするなど、生きものは色々な形で巧みに「はね」を使っています。

本企画展では、「はね」をもつ生きものや「はね」の多様な形と機能、私たちの生活の中で活用されている「はね」を紹介します。

協力●埼玉県こども動物自然公園、長島孝行氏(元東京農業大学教授)、富士フィルム株式会社、美里オーストリッチファーム

飛ぶはね

幅広いものや細長いものなど、「はね」の形は生きもの種類によって異なります。飛び方を想像しながら、色々な「はね」を見比べてみましょう。



オオタカ(左)とスズメ(右)の翼



ミンミンゼミ(左)とクロスジギヤンマ(右)



多才なはね

生きものが「はね」を使ってできることは飛ぶことだけではありません。音を出す、異性を魅了する、身を守るなど、驚くほど多様な「はね」の機能を紹介します。



非常に派手なクジャクの羽根
この羽を使ってメスにアピールする



ミヤマカラスアゲハ
右の個体は後翅が大きく欠けている
これは後翅の突起を「おとり」にして
捕食者から逃げ延びた跡

アイディアをくれるはね

植物の種がハンググライダーに!? 私たちの身の周りには、「はね」の形や機能からヒントを得て造られたものがたくさんあります。



ハンググライダーの
基になった
アルノミトラの種



タマムシの翅から
ヒントを得た
構造色スプーン



関連イベント

ミュージアムトーク

7/2①、8/20①、9/24①、10/15①
13:30より担当学芸員による展示解説を行います。
申し込み、参加費は不要です。
※入館の際に博物館の観覧料がかかります。

自然史講座「羽根のしおりづくり」

9/16① 13:30-15:30 ※事前申込制
定員 25名 参加費 500円 申込期間 8/1~8/29
詳しくは博物館ホームページまたはミュージアムカレンダーをご覧ください。



埼玉県 自然の博物館

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1

TEL.0494-66-0404 埼玉県立自然の博物館

検索



「コパン」 「さいたまっち」

@saitama_shizen



当館へのアクセス

自動車をご利用の場合
関越自動車道 花園ICより国道140号を秩父方面に20km進み、「上長瀬」の信号を左折して300m

電車をご利用の場合
秩父鉄道「上長瀬駅」下車徒歩5分、または「長瀬駅」下車徒歩15分